

着眼大局



滋賀銀行 専務取締役
高橋 祥二郎

近江の城

月刊誌「歴史人」(ベストセラーズ)4月号に「戦国の城 最強ランキング」が掲載されました。天下の名城のなかでどの城が堅牢なのか、曲輪、堀、石垣など城の強さを決める要素を分析してランキングしたものです。総合部門で彦根城が堂々の第1位、安土城が9位、小谷城が76位、観音寺城が93位と、100位以内に県内の四城が選出されました。なかでも、石垣部門第1位の観音寺城は、“天空の城”として話題の竹田城(兵庫県朝来市)を遥かにしのぐ「千」の曲輪があり、「観音寺城こそ日本のマチュピチュ」との声も聞かれるなど、「城郭ファン」ならずとも一度は訪れてみたい魅力を感じます。

日本経済復活の“カギ”は地域の活性化にあるといわれています。

地域資源を生かした観光振興もその一つです。滋賀県には風光明媚な自然に加え、1,300余城にも及ぶ城郭跡や奥深い歴史に育まれた数多くの文化財があり、今まさに、こうした地域資源の活用が求められています。彦根城、安土城、小谷城には、それぞれ観光コースが整備され、日帰りのハイカーが大勢訪れるなど地域に賑わいを呼んでいます。一方では、県内の多くの地域資源が十分活用できていないとの話をお聞きすることがあります。

近江と縁があり築城名人と呼ばれた藤堂高虎、黒田官兵衛、蒲生氏郷には、逆境を克服する「創造的発想」がありました。往時の名将に思いを馳せながら、「自分の城は自分で守る」との気概のもと、今こそ地域の活性化を、との思いを強くする次第です。

県内データ あれこれ

● 住宅用太陽光発電補助金交付決定件数

住宅用太陽光発電システム普及率 全国7位の8.1%

近畿圏でトップ

今回は一般社団法人太陽光発電協会太陽光発電普及拡大センターが公表している「住宅用太陽光発電補助金交付決定件数」から、県内の住宅用太陽光発電システムの普及率についてみてみたい。

滋賀県の平成25年度の住宅用太陽光発電補助金交付決定件数は、新築2,161件、既築3,080件の合計5,241件で、補助金がスタートした平成6年からの累計では26,783件となった。設置件数は全国22位で全国の1.7%程度を占めている。

導入件数を一戸建て件数で除した普及率は、全国平均の5.6%を2.5ポイント上回る8.1%で全国7位となり、近畿2府4県及び近隣県ではトップだった。

普及率の高さは県民の環境意識への

高さに加え、一戸あたりの家屋面積が大きく、効率的にパネルを設置できることが背景にあるようだ。国からの補助金は平成25年度をもって終了となったものの、

県、市町からの補助金は継続されている。今後もさらなる普及が進み、環境関連ビジネスが活性化されることに期待したい。

(株)しがぎん経済文化センター 吉川 友

住宅用太陽光発電システム普及率

順位	都道府県名	住宅用太陽光発電導入件数	一戸建て件数	普及率(注)
1	佐賀	22,135	210,000	10.5%
2	熊本	41,818	441,100	9.5%
3	宮崎	29,325	315,400	9.3%
7	滋賀	26,783	331,000	8.1%
20	岐阜	34,786	537,400	6.5%
22	兵庫	65,008	1,091,500	6.0%
25	奈良	19,858	338,800	5.9%
26	三重	29,453	507,700	5.8%
36	大阪	67,224	1,468,700	4.6%
39	京都	25,164	611,500	4.1%
47	秋田	4,410	313,200	1.4%
	全国	1,548,618	27,450,200	5.6%

資料…住宅用太陽光発電導入件数：一般社団法人太陽光発電協会 補助金交付決定件数(平成26年4月30日時点)
一戸建て件数：総務省総務省(平成20年住宅・土地統計調査)
(注)…「普及率」は導入件数を一戸建て件数で除したものを。